

# 幼児教育長期派遣通信 3学期号

発行 令和5年3月30日

三次市立神杉小学校 瀬山 亜希子（派遣園・所：三次市立酒屋保育所）

研修を通して、「乳幼児期に生まれた資質，能力を児童期の学びにつなげる接続の在り方～安心して主体的に自己を発揮するための工夫～」について考えてきました。

## 1 3学期の研修内容

- (1) 園内研修
  - ・年長児クラス保育補助，園外保育引率補助
- (2) 園外研修
  - ・幼保小連携授業研修会（酒河小学校）
  - ・幼保小連携推進協議会
  - ・所属校に入学予定園児の実態把握・幼保小連絡会（神杉保育所・小学校）
  - ・スタートカリキュラム，週時程等の提案，校内研修
  - ・幼児教育アドバイザー訪問指導（神杉小学校）
  - ・「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携・接続の充実事業報告会
  - ・幼児教育長期派遣研修発表会

## 2 研修を通して

スタートカリキュラムをはじめとする小学校での指導や環境づくりの工夫について「安心」「学びのつながり」を意識して考えました。

<スタートカリキュラム計画から>

<p>（人・もの・こと等） 環境構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の話の聞いたり，様子を見守ったりして不安，期待を受け止め，信頼関係を築き，学校全職員で関わり，日常的に細やかに連携できる体制を整える。</li> <li>・異学年と一緒に朝の準備をしたり，遊んだりして安心して楽しく過ごせるようにする。</li> <li>・自分の思いを表現したり，友達のを聞いたりしてお互いの多様性を認め，友達と一緒に過ごせる雰囲気をつくりを行う。</li> <li>・登校しての準備や生活の流れ，施設の使い方を，全ての児童に分かるように絵や写真を</li> <li>・4月の学級朝会を多くするなど，柔軟な時間設定をすることで登校から1時間目までをゆったりと過ごさせる。</li> <li>・合科的，関連的な授業づくりや，体験的な活動や具体物を使った学習，視覚支援等を行い，学習と生活がつながるようにする。</li> <li>・幼児期に親しんだ遊び，歌，読み語り，ゲーム等の活動を取り入れた上，机の配置や掲示物等を工夫したりして，学びやすい環境づくりをする。自由にしたいことを選んで取り組めるコーナーを教室の一角に作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のよさを認め合い，</li> <li>・児童の思いに共感し，児童と発言できたり，関わり</li> <li>・学校のルールや役割，仕</li> <li>・自信を持って取り組める</li> <li>・図書室やタブレット等の</li> <li>ようにする。</li> </ul>
<p>園・所との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期にできるようになっていたことが，さらに伸びるよう園，所と情報共有する。</li> <li>・保育所の子供達や先生方と一緒に校庭等で遊んだり，先生にゲストティーチャーとして来校してもらって交流する。</li> <li>・1年生の授業を園，所の先生が参観し，児童についての交流をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他校の先生と情報交流を</li> <li>・必要に応じて外部講師や</li> </ul>
<p>組織との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせや登下校見守り等のボランティアの方々等，児童への声掛け，見守りを通して支えてもらう。</li> <li>・児童が，安心して小学校生活が送れるよう，幼保小連携協議会，教育委員会等と連携する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて外部講師や</li> </ul>
<p>家庭との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の過ごし方，学校での様子について通信等で発信し，情報を共有する。</li> <li>・PTA総会や学級懇談会等でスタートカリキュラムについて説明し，保護者の方に安心して学校生活の様子や見通し，家庭学習などについて保護者に伝え，児童の入学時の不安や信頼関係を築き，協力して児童を支えられるよう，連携を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて外部講師や</li> </ul>
<p>備考欄</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級担任との連携を密に行い，特別支援学級在籍児童と一緒に1年生としての居場所づくりを心掛ける。</li> <li>・行事や学習活動のねらいを保護者や地域の方に伝え，多くの人と関わりながら活動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動できるようにする。</li> </ul>

**人**  
担任，全職員，園所の先生，保護者，地域，同級生，上級生

**もの**  
園・所で親しんだ活動，具体物・見通し

**こと**  
単元，授業作り，体験的な活動，ゆったりとした時間設定，園・所との交流

<大切にしたい点>

**人**…担任が受容的，共感的な姿勢で，児童の不安や期待を受け止め，信頼関係を築く。また，1年生と担任だけではなく，全職員，園所の先生，保護者，異学年，地域等が関わり合い，「みんなの安心」の実現を意識する。園所との要録を使った情報共有や継続的な交流を行う。

**もの**…園所で親しんできた活動や，具体物を使ったり経験を生かしたりする体験的な活動を取り入れ，「保育所も楽しかった。」「小学校は何が楽しいかな。」と**学びのつながり**，わくわくが感じられるようにする。

**こと**…乳幼児期に自ら環境に関わり，育んできた力を生かし，**見通しをもって安心して活動**できるようにする。「やってみたい」「できたらいいな」「できてうれしい」を小学校でも感じながら学習に取り組めるよう学習と生活，経験をつなげる。

< 週案から >

新会 新会に孝順 朝の会(ながよしタイム) あいさつ 元気調へ れんらく	新会 新会に孝順 朝の会(ながよしタイム) あいさつ 元気調へ れんらく	新会 新会に孝順 朝の会(ながよしタイム) あいさつ 元気調へ れんらく
体 算 算 国	国 算 算 国	音 国 国
器械・器具を使っ ての運動遊び くらべたことがあるかな	おはなしたのしいな えんぴつとなかよし どうぞよろしく	うたっておどってなか よくなるう えんぴつとなかよし
国	算	音
いいんま おはなしたのしいな あつまってはなそう	ななまつくりと数	たのしい音楽
国	図	体
えんぴつとなかよし どうぞよろしく	すきなこといっぱい	走・跳の運動遊び
生 国 国	図	生 生 国
がっこうのことしりたいな おはなしたのしいな	すきなこといっぱい	みんなとなかよくなりた い どうぞよろしく

**第1学年終了時の期待する児童の姿**

- ・学校が楽しいと感じ、同学年や異学年の友達や先生と関わる。
- ・適切な言葉づかいで自分が伝えたいことを友達や先生に伝える。
- ・学校のルールを守り、係活動や日直などの自分の役割を積極的に果たす。

★1日の流れ、授業時間の工夫★

【朝、休憩時間 自由遊び】

登校後、友達や上級生、担任や学校職員と関わって自由に過ごす中で、したいことを選択してじっくり楽しみ、人との関わりの中で安心や学校への親しみをもって学校生活を送る。

【1時間目 短い活動の組み合わせ】

体育の体ほぐしやミニゲーム、音楽の童謡や国語の絵本、言葉遊び等、友達と関わったり、園所で親しんできた活動を楽しんだりする短い活動を組み合わせ、楽しく、安心して1日をスタートする。

【じっくり取り組む授業】

時間をしっかり取り、体験的、対話的な活動を意識して取り入れたり、丁寧な指導をしたりする時間を大切にする。保育所で「～したい」と思って取り組んできたように「どうして?」「どうする?」「やってみたい」と思える学習の意欲を高め、協働的、主体的な学びにつなげる。

★生活科を中心とした合科的な学習活動★  
大単元「がっこうたのしいね」

「知らない、分からないから不安」が「話を聞いて安心した」「楽しそう」「次はこれをやってみよう」になるように、小学校を知る・慣れる・楽しむ・生活と学習をつなげることで安心や意欲、主体的な学びにつなげる。

生活科を中心とした合科的な学習活動の充実 大単元名「がっこうたのしいね」(32H)		
1次 がっこうのことしりたいな (15H) 生活「がっこうだいすき」(6H) 国語「どうぞよろしく」「おはなしたのしいな」(3H) 図工「すきなものいっぱい」(2H) 音楽「うたっておどってなかよくなるう」(1H) 体育「体づくり運動遊び」(2H) 特活「おいしい給食」(1H)	2次 がっこうをたんけんしよう (9H) 生活「がっこうだいすき」(7H) 国語「なんていあうかな」(1H) 音楽「がずをさがそう」(1H)	3次 がっこうでみつけたよ (8H) 生活「がっこうだいすき」(4H) 国語「ききたいな、ともだちはなまそう」(3H) 音楽「みのまわりのおとにみみをすまそう」(1H)
関連的な学習活動 国語「としよかんへいこう」算数「ななまつくりと数」 体育「器具・遊具を使っの運動遊び」特活「1年生になったよ」「安全な登下校」「係の仕事をがんばろう」道徳「たのしい学校」		

★生活環境★

【自分で選んで取り組めるコーナー】

園所で親しんできた遊びを中心に、自分でしたいことを選んで自由に楽しむ活動を通して、人間関係づくり、安心して思いを表現できる雰囲気づくりのきっかけにし、自分で選択、考える、行動する力を小学校でも発揮することにつなげる。

【見通しをもって安心して過ごせる教室】

生活や学習の流れや方法が分かり、自ら考えて行動できる掲示や指示を工夫し、気持ちよく安心して過ごせるようにする。

★学習環境★

【経験、生活と学習をつなげる工夫】

身近な題材、経験を学習に取り入れたい、具体物を使ったり体験的な活動に取り組んだりして、生活と学習をつなげる。

【視覚的な支援】

実態に応じて適切な視覚的な支援を行い、課題を理解し安心して主体的に目標に向かって取り組むことにつなげる。また、学習の足跡を残し、既習事項を次の学習や生活に生かし、自分の成長を感じながら意欲的に学習に取り組めるようにする。

【対話的・協働的な学習】

学習内容や実態に応じて、グループ、活動、場等を工夫し、多様な考えを認め合い、一緒に学ぶ良さを感じられるようにする。

★環境構成★

入学当初の児童の姿

- ・体を動かしたり、物を作ったりするのが好きで意欲的に取り組む。
- ・小学校に対する期待感、がんばりたいという気持ちを持っている。
- ・友達と一緒に過ごすのが好きだが、うまく思いを伝えられないことがある。
- ・失敗や間違いへの不安が大きく、自信がない子が多い。



3 まとめ

保育所と小学校が同じだから安心ではなく、違うけれど安心して過ごせる、違うからこそ新しい発見や「楽しい」「がんばりたい」「できるようになりたい」と思えることを増やしていくこと、また、幼児教育、小学校教育の場での子ども達の姿をお互いに見合い、理解し合うことが円滑な接続、自己を発揮することにつながっていくと考えています。

〈乳幼児教育支援センターより〉

小学校の勉強をわくわく心待ちしている子供もいれば、新しい環境に不安を感じる子供もいるなど、入学前の子供たちの思いは様々です。子供一人一人のありのままの思いを受け止め寄り添う担任の姿勢は、そのような子供たちの安心感につながります。人的環境として教師が果たす役割は大きいです。